Pre MET
町並みコース

Fushimiku Kyomachi-dori Mori-bashi (Kyomachi 5-chome)
伏見区 京町通毛利橋 京町五丁目
伏見区 本材木町
Fushimiku Honzaimokucho
伏見区 京町一丁目
Fushimiku Kyo

大手筋商店街の昔と今の町並みの違い

町並み新聞

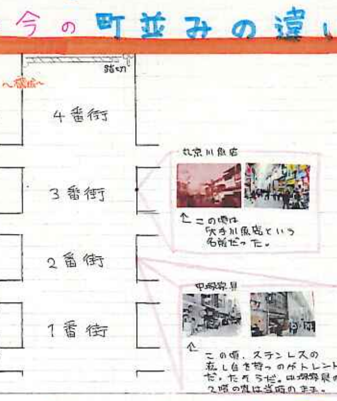
メンバー

歴史

～戦前～

人口の増加、深草に第16師団設置、交通の発達等により、大手筋の通行者が著しく増加し、商店街的性格を高めようとする機運が高まりました。

多くの曲折を経て、約30基の街路灯を設置し、商店街としての形式を確立しました。



↑この頃は「大手川魚店」という名前だった。

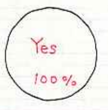
↑この頃、ステンレスの衣し台を持つのがトレンドだ、たそうだ。中島家具の2階の窓は当時のまま。

〈初代アーケード誕生〉

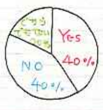
昭和46年に電動開閉式のアーケードが完成した。その後、昭和49年ごろに大手筋の1～4番街の名前が付いた。そして、平成9年に現在のソーラーアーケードが完成。

アンケート結果

1、大手筋周辺の町並みは、今と昔で変わったのか？



2、昔と今の風景では、今の方が好き？



3. 2について その理由は？

昔	今
◦自然が多かったから。（50代男性）	◦下の道路が補装されたから。（50代男性）
◦人が大勢行き来していたから。（60代女性）	◦便利な建物が出来たので（70代男性）

どちらでもない

昔も今も良いところや悪いところがあり、選ぶことができない。

（50代男性）

〈反省〉

今回、インタビューをする時間が2時間しかなく、店員さん側の意見しか聞けなかった。なので、少し意見のかたよりがあった。

〈感想〉

私たちの世代は昔の大手筋を知らないので、今回調べたり、インタビューをしてみて、たくさんのことを知ることができました。私たちはこれから大人になっていくにつれ大手筋の姿がかわっていくと思います。だから、今の大手筋の姿を守っていくよう努力したいです。

銀座町

Ginza city

町並みコース 4班

日本には2つの銀座が存在する！

IN 伏見

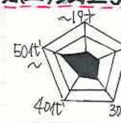
IN 東京

そもそも「銀座」とは、「銀貨の鋳造・発行所」のことです。伏見の方が歴史は古く、なんと1601年、徳川家康が伏見城にいたころです。今は京都らしい静かな住宅街になっていますが、江戸時代は人々の生活に欠かせない、重要な機能を担う町だったことが分かります。

また、都と共に銀座の位置も変わっていったので、日本には他にも多くの銀座が存在していました。ですが、今でも地名となって残っているのは、現在の首都・東京の「江戸京橋銀座」と「伏見銀座」の2つのみです。いかに伏見銀座が栄えていたかが分かると思います。

現在の銀座町のデータ

人口構成 ペンタグラフ



～19才…15.7%
20代…14.6%
30代…17.2%
40代…12.2%
50代～…40.8%

コンビニ数…0件で87位（京都の中で）
男女比…48.0/52.0

総人口…381人
世帯数…196世帯
15才未満人口…43人
65才以上人口…77人

男人口 183人 女人口 198人

まとめ

秀吉がつくった巨大な城下町を家康が進化させ、日本初の「銀座」をつくりました。
都が東京に移ったあと、伏見の町はさびれてしまいましたが、「この町をどうにかしたい」という人々の強い思いで疏水が完成しました。
私たちは改めて、「人々の伏見に対する強い思い」を感じました。
たくさんの人々の熱い思いがつまった伏見という町を、

ほかにもあった！変わった地名

「職業」
材木町、風呂屋町、魚屋町、塩屋町 etc…
↓
秀吉が伏見城の築城にあたって、様々な職業の人を全国から呼び集めたことから。

「全国にある地名」
讃岐町（香川） 伯耆町（鳥取） etc…
↓
全国各地の大名を呼び集めたため、その大名の地元の旧国名がそのまま町の名前になった。

「人の名前」
丹波橋、井伊掃部（いいかもん） etc…
↓
伏見のあちこちに大名屋敷が建てられたため、その大名の名前がそのまま町名になった。

町並みコース（伏見の商店街）

僕たちのグループは伏見の商店街について調べインタビューしました。インタビューの内容は右のとおり。

①お客さんの集め方の工夫
②普段一日は何をしているか
③商店街を続けていて良かったと思ったこと
④運営していくにあたり、自慢でき

☆1つ1つの商店街の調査内容

◦納屋町商店街…歴史は古く城下町として栄えていた。①イベントをして客の注目を狙う②各店の業務・イベントの準備③色々な人とのつながりができていくこと④皆で協力し運営を進めていくこと

◦竜馬通り商店街…1960年代に南浜商栄会として組織され今日の商店街の基礎が出来上がっている。①イベントをしたり理事会を開いたりして向上を話し合っている。②各お店の管理③お客さんにたくさん来てもらうこと。④商店街として町並みがしっかりしていること。

◦中書島繁栄会…京阪中書島前の通りから枝分かれの様にお店が広がっている。①夜の仕事をしている。年末イルミネーション②自営業③先輩がやってきた事を受けついでいること④先輩たちがやってきた事を守りぬいていく 番外編 交通規制はしているか→していない

伏見稲荷参道商店街…お稲荷さん総本山「伏見稲荷大社」の参道を彩る商店街①地域の活性化②各自の自営業でイベントがあれば集る③イベント時に地域の方々が楽しんでいる所④横のつながり（近所のつながり）が深い 番外編 東日本大震災が起こっての取りくみ→皆で義援金を集めた 現地に行ってボランティア3回した。他に対する目配りができていることがわかる

4つの商店街をインタビューしての考察①どこもお客さんを集めるために様々な工夫していた②自分の商売と商店街の運営を両立している③商店街は人と人とのつながりで成り立っている。④お客さんをなりより大切にしている。⑤何事にも気づかいが大切。などのことがとてもよくわかった。

感想…商店街にも様々なドラマがある。お客さんを集める為の苦労、地域とのつながりなどととても運営していくのには大変な仕事だが、つらいほど、やりがいも大きい様に感じる。この町がよほど好きでなければこの仕事は勤められないと思う。便利な町が出来ている裏にはこういう商店街の方々の努力があるように思った。これからもこの伝統のある伏見の商店街を僕たちが守っていかなければならないと思いました。

資料

〈図1〉

納屋町商店街の様子

伏見稲荷参道商店街エリア

京町のいま

歴史のある家屋

新しい家屋

京町通りを通っていると、新しい家屋と歴史のある古い家屋を見つけることができた。町並みは少しずつ変わってはいるものの、歴史ある家屋を守っていきたいという人はたくさんいる。下図を見ると、新築のように見えるが京都の風情を感じとることができる。これからのこの風情ある景観を守っていくことが大切ではないだろうか。

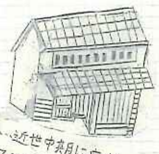
感想

今まで知らなかった京町がこんなに今古い家々と新しい家々がまざっていることをこの学習をとおしてはじめてしりました。ハイテクなものが増えていくと古いものが少なくなっていってしまっている。それをどうにかするためにぼくたちはどうしていけばいいのだろうか考えていきたいです。

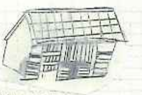
京町通り

京町の時代ごとの家

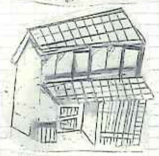
製作 町並み



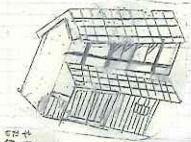
中二階…近世中期に完成し、明治時代後期まで建てられた町家を代表する様式。表側の二階は天井が低く物置や使用人の居室にあてられた。二階の採光・通風のために土壁に設けられた、縦に格子が入った窓は「むしこ窓」という。



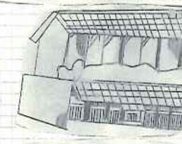
平屋…通りに面した間口いっぱいに家屋を建てるため、正面が家の顔になる。門口・格子・通り庇などの部分が共通する一階建ての町家。



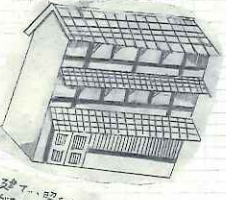
本二階…明治末から大正時代にかけて、一般の町家では二階表の居室化にともない「本二階建て」の時代ができた。二階は木枠のガラス窓になり、窓の上下に長押をつけ、軒裏を出桁で支える「せがい造り」などの形式も完成した。



仕舞屋（しもたや）…第一次大戦後、産業構造の変化によって京都にも賃金労働力が集中。伝統的な職住生活がくずれていった。この仕舞屋は店舗を持たない専用住宅の町家である。出格子や通り庇などは小さくなり、象徴的で意匠的な要素として残っていく。



大塀造り…仕舞屋が発展して、表通りに高い塀をめぐらせ前庭を設け、家屋はその後方に建てたものが「大塀造り」である。これまでの軒や庇が連続する家並みが違い、一戸が独立している。門、門口、高塀、出窓などの共通した外観が特徴。



三階建て…昭和に入って木造の三階建てが登場。狭い敷地を有効に利用するために普及した。店舗と住居を兼ねた建物が多いが、第二次世界大戦で、この様式は発展せずに終わる。しかし、京都は戦災をまぬがれたため今でも多く残っている。

※通り庇…表に向かって長く伸びた庇のこと。その下は町行く人の日陰となり、雨宿りのスペースとなった。また祭には幔幕を張ったりする。うちとそとをつなぐ半公共的な空間として機能している。

※むし窓…中二階の壁に開けられた格子状の窓。風通しを良くする役割がある。明治後期からは二階部分が本二階になりむし窓は格子窓あるいはガラスにかわった。

天神商店街の店の配置

- 娯楽は商店街の入り口側（駅側）にあった。
- 食べ物屋（系）は商店街のあちこちに散らばっている。（カフェ、バー、お買い物など）
- 有名な店が商店街の入り口や出口にある。
- 商店街は一つの道の左右に配置されている。

～考察～

- 一つのみちの左右にあることで付近の住民の生活にとても便利なものであることが分かる。
- 入り口に有名な店があることでその店にたちよりやすいと分かった。

◎商店街の特徴

①商店街の種類について

近隣型ー日常生活圏内の集客

広域型ー日常生活圏を越えて集客しうるもの、各県庁所在地にあるような商店街

\超広域型ーさらに広い範囲から集客しうるもの 例：東京・銀座商店街

②構成

店舗の構成は立地により大きく異なる。
近隣型では、日用品や身回品を中心に食料品・衣料品・雑貨店、さらには食堂等の飲食店が混じるなど多岐にわたる場合が多い。広域型になるにつれて、買回品、飲食店等が増えてくる。
古い商店街では呉服店の多い商店街がある。
特殊な構成形態としては、料飲店の集積した飲み屋街もあるが、これは通常「商店街」とは呼ばれない。

③伏見の商店街「大手筋」

実は大手筋という語源は古く、豊臣秀吉の時代までさかのぼります。
文禄三年（1594年）、秀吉は伏見城建築により大手広庭を形成、そこに大手門を築きそれより少し曲がって西方に道を作ったのが大手筋通りです。
伏見城に出入りする一番重要な道であったわけです。
記録としては享保十三年（1728年）作成の紀伊郡伏見御来図に「大手広庭の前、大手筋通りと云う」と書かれていま

伏見の長屋

調べようと思ったりゆう

僕たちは、伏見区の長屋についてどうゆう長屋が多いか不思議に思ったので調べようと思いました。

伏見区は、昔、城下町だったので、昔の街並みの雰囲気として、長屋か何か残っていないかと思い、いろいろわかることがないか調べ、「残っているもので身近なものは何か」と考え、建物についてしようと思いました。

そして、昔の建物で、「長屋」という昔なりの民宿を調べて、どんな街だったのかを知ろうと思い、調べる事にしました。

Otesuji Market
Teradaya
寺田屋
Okura Memorial Museum
Gokonomiya Shrine
Chushojima-eki

調査範囲

まずは、昔なりの雰囲気が残っている「寺田屋」「月桂冠」「河童カントリー」「宇治川派流付近」「大手筋商店街」などの周りを限定し、どうゆう建物、（長屋）があるかを調べて、どういったところが一番多いかを調べ、「どういった建物」「どういった建て方」「どういった雰囲気の所に立っているのか」を中心に調べる事にしました。

この中でも、「どういった雰囲気の所に立っているのか」をよく調べる事にしました。

調査

はじめに、「寺田屋」の近く、その近くにある「竜馬通り」「竜馬商店街」を通るルートで探索をしました。すると色々な古い建物があり、昔なりの雰囲気が出ていたと思いました。ですが、「長屋」というものはありませんでした。

「寺田屋」の周りでは、あまり見当たらなく、最近できた建物などしかなく、これと云って余りありませんでした。

「竜馬通り」「竜馬商店街」当たりでは、古民家が多くみられ、昔の雰囲気が残っていました。

次に、「宇治川派流」「月桂冠」「大手筋商店街」を通るルートで探索しました。すると、「長屋」はあったのですが、民宿のために建てられたものではなく、酒作りをするために建てられたものが多く、民宿するための長屋は、見られなかった。

雰囲気は、整備がされていて建物と周りの雰囲気が合わず、昔なりの街並みじゃない感じがしました。

その中でも、少し大きな古民家、が一つ、倉のようなものを二つ見つける事が出来ました。

古民家では、中二階（屋根裏）、虫籠窓や、犬矢来、蔀出しなどの工夫がしてあり、昔ながらの町屋でした

「大手筋商店街」では、奥に少し長い古民家を多数、古そうな一軒家を多く見かける事が出来ました。

最後に、「河童カントリー」の周りを探索しに行きました。

周りはきれいに整備されながらも、きれいに両側に、「黄桜河童カントリー」の長屋があり、昔の風景を保っている感じがしました。けれども民宿、古民家の二つともありませんでしたが、酒作りをするための長屋を多く見つけました。

しかし、少し小さめの古民家を何軒か見つける事が出来ました。けれども、町屋にあるはずの、駒寄せ・虫籠窓・犬矢来・忍び返しなどをつけたものではなく、ちがうもので出来ていた。

調査マトメ

伏見では、京都の町としてある古民家は多くあるが、長屋になるとなかなか見つからなく、酒作りのために建てられたものしか見つからない。

伏見には、まだ昔の雰囲気が残っているのはいいと思ったので、これからも残せるように頑張ろうと思いました。

調べるにつれ民宿の長屋があまりなく、酒作りとして使われているものが多い事が分かりました。

豆知識

伏町屋についての特徴を紹介しま～す！

出格子

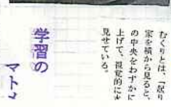
主にしもた屋の表の間に取付けた障子のこと。出窓の役割をする。

犬矢来

通りに面した格子の前などにめぐらせた丈を曲げて作った囲い。

忍び返し

泥棒除けに、家と家の間や、門、塀の上に竹・木・金属の先にとがったものを取付けた。直一列や、交叉したものがある。



猿戸

玄関の戸のある、がめないと入れ、うな戸（くぐり戸）と。

屋根のむくり

むくりとは、「反り家を横から見ると、の中央をわずかに上げて、視覚的に見せている。

学習のマトメ

METの学習を通伏見の街を深く知が出来ました。色々へ行き、様々な体験き良い学習になっ思いました。グルーでもトラブルがあしたが、協力していした。

調べる事については、間が少し足りず、広囲で、調べる事が出多くのデーターをて分析などをする出来なく、深く学習コツが出来ていなたと思います。なので、今後は調べいろな資料を見なにデーターを取り、深く学習できるよして行こうと思いま